





エネファーム発電専用リモコン

品番 RC-F166MW-1







事前にご確認ください

このたびは当社製品をお求めいただきまして、ま ことにありがとうございます

- ●この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用く ださい。なお、ご不明な点があれば東邦ガスにお問い合 わせください。
- ●この取扱説明書は、別冊の燃料電池ユニットの取扱説 明書(保証書付)と併せて、いつでもご覧になれるとこ ろに保管してください。

エネファーム発電専用リモコンの操作を説明しています

 ●燃料電池ユニットについては、別冊の燃料電池ユニットの 取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

●実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異な ります。

この取扱説明書での機器の呼びかた

- ●燃料電池ユニットを発電ユニット、燃料電池ユニット と給湯機器を合わせたシステムをエネファームと呼び ます。
- ●エネファーム発電専用リモコンを**リモコン**と呼びます。

逆潮流の有無はご購入時にお客さまに選択してい ただきます

- ●逆潮流の設定は施工時に施工業者がおこないます。お 客さまご自身で設定変更はできませんのでご了承くだ さい。設定変更をご希望される場合は、東邦ガスまで ご相談ください。
- 逆潮流に関しての詳細は東邦ガスホームページ等をご 覧ください。

逆潮流有の設定を選択された場合は、画面表示が 異なります

- ●逆潮流有の設定を選択された場合とされていない場合 で、発電に関する表示が異なります。(この取扱説明書 では、逆潮流有の設定を選択されていない場合の表示 例で説明しています)
- ●この取扱説明書では、「逆潮流有の設定を選択された場 合」を「逆潮流の場合」として説明しています。

以前の入居者がエネファームを使用していた可能 性がある場合

●エネファームをご使用になる前に、リモコンの「全設定 初期化」をしてください。(P42「ユーザー設定を初期 値に戻す」)

停電時発電継続機能(P28)について

● 停電時発電継続仕様と停電時発電継続(DC出力)仕様が あります。

停電時、「停電時発電継続仕様」では、停電時専用コン セントから電気が供給され、「停電時発電継続(DC出力) 仕様」では、ハイブリッド蓄電システムから家中のすべ てのコンセントや照明器具などに電気が供給されます。 詳細は、発電ユニットの取扱説明書をご覧ください。

もくじ

はじめに

事前にご確認ください・・・・・	2
もくじ・・・・・	3
必ずお守りください(安全上の注意)・・・・・・・・・・	4

ご使用前に

各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
スイッチ・ランプ・マーク・・・・・	5
表示画面・・・・・	6
トップ画面・・・・・	7
トップ画面のモードを切り替える・・・・・	9
日時をあわせる・・・・・	10

エネルック

エネルックとは・・・・・ 11
トップ画面で現在のエネルギーの状況を見る・・・・・・ 12
エネルックで詳しい使用状況を見る・・・・・・13
発電レポートで電気の状況を確認する・・・・・・13
発電量の履歴を確認する・・・・・・・・・・・14
各エネルギーの使用量などの履歴を確認する・・・・ 14
各エネルギーの状況を料金で確認する・・・・・・15
使用開始から現在までの発電の累積値を確認する・・ 16
エネルックの設定を変える・・・・・ 16

無線LAN機能

無線LANルーターと接続してできること ・・・・・・	19
トップ画面に「無線LAN設定をおこなって ください」の表示が出ているとき・・・・・	19
リモコンと無線LANルーターを接続する ・・・・・・	21
リモコンとスマートフォンを接続する・・・・・	25
ツナガルスイッチを操作する・・・・・	26
配信情報を見る・・・・・	27
すべてのスマートフォンとの接続を解除する・・・・・・	28

停電時発電継続運転

停電時に電気を使う<停電時発電継続運転>・・・・・・ 28

メニューからの運転・設定(ユーザー設定)

メニューから運転操作をする・設定を変える(ユーザー設定)・・	33
メニュー一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
発電・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
音・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35

こんなとき

リモコンのお手入れ・・・・・ 4	.3
------------------	----

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら・・・・・	43
リモコンに故障表示が出ているとき・・・・・	47

ご参考

転居されるとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
リモコンにアップデートに	
関するお知らせを表示したとき・・・・・	47
アフターサービスについて・・・・・	48

はじめに

必ずお守りください (安全上の注意)

●発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

 ●お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に 防止するために、つぎのような区分・表示をしています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りい ただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、 重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じる ことが想定されます。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、 重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。

∕∧注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷 を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただ きたい内容です。

注意 リモコンの取り扱い



●リモコンのスピーカーに耳を近づけない

大きな音が出る場合があり、聴覚障害などを引き起こす 原因になります。

●リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を 使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

お願い リモコンの取り扱い

●リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

●リモコンに水しぶきをかけない、蒸気を当てない 炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。

●表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする

●表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの(ボール ペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強く押したりしない 正常に動作しない原因や、タッチパネルの表面を傷つける原因 になります。また、必要以上に強く押すと、タッチした部分に 画面のゆがみやムラが出ます。パネルの特性で異常ではありま せんが、何度も強く押すと故障の原因になります。

お願い リモコンのメンテナンス

●リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

●リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、べ ンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない 変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

お願い リモコンの設置環境

●リモコンは0℃~40℃の室温で使用する 故障の原因になります。





●災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、停 電時発電継続運転をしない 火災などの原因になります。

停電時発電継続機能付について



禁止

●停電していない時に、意図的にブレーカーを切っ て停電時発電継続運転させない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能、メリッ トが損なわれます。



●停電時専用コンセントが設けられていることを確 認する

停電時に発電ユニットで発電した電気を使用するには、 必ず守る 停電時専用コンセントが必要です。停電時専用コンセン トには「エネファーム」/「停電時自立発電専用」と表示さ れていることを確認してください。

●停電時以外は停電時専用コンセントに電気機器を 接続しない

接続した電気機器に突然電気が流れ、機器が損傷する原 因や、突然の動作による事故の原因になります。

禁止

●停電時専用コンセントには、途中で電源が切れる と生命・財産に損害を受けるおそれのある、以下の ような機器を接続しない

- すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器
- ・炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報 機器および周辺機器
- ・その他、電源が切れると生命・財産に損害を受け るおそれのある機器

停電時専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、 停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。

●消費電力が700W以上になる機器は接続しない 停電時発電継続運転で使用できる電気の量は最大約 700Wです。

●停電時専用コンセントと家庭内の普通のコンセン トを延長ケーブルなどで絶対に接続しない 感電、発火などの原因になります。

●停電していない時に、意図的にブレーカーを切っ て停電時発電継続運転させない 思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能、メリッ トが損なわれます。

各部のなまえとはたらき

スイッチ・ランプ・マーク



① ON/OFFスイッチ・ランプ

- ・画面を表示させたり消したりするときに。
- ・画面を表示するとランプ点灯、画面が消えるとラン プ消灯します。
- ・不在停止中の画面消灯時(P34)はランプ点滅。

※発電ユニットを起動したい場合は発電ユニットの 取扱説明書を、停止したい場合は本取扱説明書の P34「不在停止」、P35「発電禁止」をご参照くだ さい。

② 凍結予防運転中マーク

凍結予防のために発電ユニットのヒーターが作動して いるときに点灯。

- 3 表示画面(P6~8)
 - ・タッチパネルです。(P6)
 - ・ 画面が消えているときにタッチすると、 画面を表示 します。
 - ・リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えて います。(P6)
 - ・表示画面のお手入れをするときは、P41「タッチパ ネルのお手入れをする」の方法でタッチ操作を無効に してください。

④ 発電ランプ

- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
- ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い			
1 2444	オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が増えています 節電してください	
1.2KVV -	青色	使用電力が少し増えています	
0./kW		発電ユニットの発電内で 上手に使用されています	
少な	少ない		

・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色	使用電力が発電電力より多いので
(節電お知らせ)	買電しています
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています

(つづく)

ご使用前に

表示画面(タッチパネル)の操作の基本

- ●リモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実にタッチしてください。
- ※片方の指で画面を触りながらもう片方の指で操作するな ど、2点以上同時にタッチすると、正常に動作しません。
- ※使用していくうちに、タッチの位置にずれが生じること があります。P36の方法で、タッチ位置のずれを直し てください。

お願い

- ●表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする
- ●表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの (ボールペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強 く押したりしない

正常に動作しない原因や、タッチパネルの表面を傷つ ける原因になります。また、必要以上に強く押すと、タッ チした部分に画面のゆがみやムラが出ます。パネルの 特性で異常ではありませんが、何度も強く押すと故障の 原因になります。



スイッチ操作がうまくいかないときは・・・



スイッチに指が当たる前に、 爪や指の先端が スイッチ以外の場所に 当たると、スイッチが タッチを感知しない ことがあります。



お知らせ

- ●表示画面に市販の保護シートなどを貼り付けると、 正常に動作しないことがあります。
- ●画面の液晶には、一部に点灯しないドット(点)、ま たは常時点灯するドット(点)が存在する場合があり ますが、故障ではありません。

■ グレーになっているスイッチは操作できません



設定できません

表示の節電について

- ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしな いまま約10分たつと、表示が消えます。
- ●以下の操作で表示の節電が解除されます。
 - ・画面をタッチする
 - ・ON/OFFスイッチを押す
- ●以下の場合は、表示の節電はしません。
 - ・発電ユニットが起動するときの約1分間
 - 停電時発電継続運転中
 - ・日時が未設定の状態が10分以上続いた場合
 - ・故障表示中

●下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって表示が異なります。



タッチできるスイッチ表示 メニュースイッチ いろいろな設定を変えたり、メニューから運転するとき。 ② 配信情報スイッチ

アプリまたはエネファームの販売事業者等から送信さ れたメッセージを確認するとき。(P27)

③ ツナガルスイッチ(P26) ※「ツナガルスイッチ」は大阪ガス株式会社の登録商標です。

タッチしても変わらない表示

- ④ 発電状況表示 そのときの発電の状況を表示します。(P8)
- (5) 発電モードマーク(P8)
- **⑥ 無線LAN状態表示**(P8)
- エネルギー状況表示 現在の発電状況やエネルギーの使用状況を表示。 (P12)
- 8 故障表示 不具合が生じたときに表示。(P47)
- 9 日付・時計表示

(つづく)

発電状況表示について

∮廃電中

表示	状態	
🗲 (点灯)	発電しています	
(点滅)	 起動中(発電準備中)です	
	発電停止の動作中です	
(表示なし)	発電ユニットは停止しています	

発電中

表示		状 態
発電中		発電しています
	起動中	起動中(発電準備中)です
	停止中	発電停止の動作中です
	(表示なし)	発電ユニットは停止しています
発電禁止		発電を強制的に禁止しています (P35「発電禁止」)
発電×		発電ユニットが使用できな い場合に表示します
出力抑制※1		機器の保護のため、発電ユ ニットの出力を抑えています
不在停止		発電を停止しています (P34「不在停止」)
∮自立↔<mark>∮自立</mark> (交互表示)		停電時発電継続運転してい ます
∮自立-高↔<mark>∮自立-高</mark> (交互表示)※2		高出力モード(P32)で停 電時発電継続運転しています
逆潮	電圧抑制 ※3	発電ユニットの出力を 一時的に抑えています
場 流 合 の	売電中	発電した電力を売電しています

- ※1:外気温が高いときや、熱が滞留するような設置環境 にあるときは、運転を継続させるために、発電ユニッ トの出力を抑えます。これらの条件が解消されると、 この機能は自動的に解除されます。 詳細は、発電ユニットの取扱説明書の「故障・異常
- かな?と思ったら」をご参照ください。 ※2:停電時発電継続仕様の場合に表示します。
- ※3:自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が法律で定められた上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。系統の電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。 詳細は、発電ユニットの取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」をご参照ください。



● タンクリフレッシュ運転マーク

長時間お湯の使用がなかったときなどに、発電ユニットの 貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。

🕅 マイコンメーター確認マーク

発電中 🕅

●1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。

Mのみ

- お客さま宅のガスメーター(マイコンメーター)の誤
 警報防止のため、発電ユニットは26日間連続して発
 電すると、27日目に約24時間停止します。この機能
 により停止している間は、この表示が出ます。
- ●この表示が出たら、すべてのガス機器(暖房も含む) を最低70分以上使用しないでください。70分あけ ずにガス機器を使用すると、ガスメーター(マイコン メーター)がガス漏れと誤警報します。

無線LAN状態表示について

表示	状態		
2	無線LANルーター・サーバーに接続してい		
NU	ます		
sx	無線LANルーターとは接続していますが、		
200	サーバーと通信できていません(P46)		
	無線LANルーターの圏外になっているか、		
圈外	無線LANルーターとの接続が切断されてい		
	ます(P46)		
	●無線LANルーターとの接続設定がされて		
	いません(接続方法→P21)		
(非表示)	●無線LANルーターとの接続設定をしてい		
	ても、【音・その他】の「無線LAN」が【OFF】		
	の場合は非表示になります		

トップ画面のモードを 切り替える

●明るい基調と暗い基調を切り替えられます。





手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする





2. 【音・その他】をタッチする



 右下の▼でページを送り、【画面設定】をタッチ する

トップ	音・その他	戻る
画面設定	2	
無線 LA	N	2/4
画面のま	3手入れ	

4. 「トップ画面の設定」の【▶】をタッチする



5. 「画面モードの切替」の【 ▶】をタッチする



6. 【ダーク】をタッチする



【自動切替】に設定すると、毎日18時になると自動的に暗 い基調(ダーク)になり、次の日の朝6時になると明るい 基調(ライト)に戻ります。

日時をあわせる

 ● 無線LANルーターと接続すると(P21)、インター ネットを介して自動で日時を取得するため、「日時あわ せ」の必要はありません。また、手動で日時あわせをし ても自動的にインターネットで取得した日時に変更さ れます。 (ただし、無線LANの設定(P38)を【OFF】にしたり、

「ネットワーク日時に同期」の設定(P36)を【無効】に したりすると、自動で日時は取得できません)

手順	
」 川只	

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする



2. 【音・その他】をタッチする

トップメニ	ユー 戻る
発電	エネルック
音・その他	お知らせ

3. 【日時設定】をタッチする



4. 「日時あわせ」の【 ▶】をタッチする



5. 設定したい項目をタッチしてから、数字をタッ チして日付と時刻を入力する

トップ	日時あわせ	戻る
20 22 年	6月12日 1	0時15分
	◀ ∥ ▶	II I
1 2	3 4	5
6 7	8 9	0

●【◀】【▶】でも項目を移動することができます。

6. 【決定】をタッチする

トップ	日時あわせ	戻る
20 <u>22</u> 年	6月12日 10)時20分
		訂 正]
1 2	3 4	5
6 7	89	

●【決定】をタッチしないと、日時あわせは完了しません。

お知らせ

- ●停電のあとや電源を切ったあとは、再通電したとき に日時がリセットされている場合があります。
 無線LANルーターと接続していない場合や、「ネッ トワーク日時に同期」の設定(P36)を【無効】にしている場合は、手動で日時をあわせ直してください。
- ●日時あわせをしないと、ガスメーター(マイコンメー ター)の安全機能確認、エネルックの表示内容が正し く動作しません。
- ●日時を変更すると、エネルックのデータが上書きさ れたり「0」になったりすることがあります。

エネルックは、ガス・電気の使用状況を確認 できる機能です

- ●現在の使用状況をトップ画面で手軽に確認できます。 (P12)また、詳しい使用状況は、【メニュー】→【エネ ルック】で確認できます。(P13)
- 必要に応じて、表示や料金単価・目標値などの設定を 変更できます。(P16「エネルックの設定を変える」)
- エネルックの表示は、1時間に1回、または【エネルック】
 をタッチしたときに更新されます。

確認できるエネルギーや表示する値について

発電ユニットで使用したガスと、家中の電気の使用 状況を確認できます

- ●0:00から次の0:00までの使用分を「1日分」として、 積算します。
- ガス使用量は、家庭内すべての使用量ではありません。
 発電ユニットを通らないガス(給湯機器、ガスコンロ、ガスファンヒーターなど)の使用分は、積算しません。
- 停電があった場合や発電ユニットの電源を切った場合 は、当日分のデータが削除されることや正しい値を表 示しないことがあります。

逆潮流の場合は、売電・買電の状況も確認できます

売電・買電とは

- ●売電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より 多い場合に、余った電力を電力会社に売ることです。
- 買電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より 少ない場合に、不足している電力を電力会社から買 うことです。

表示する値は、実際の使用量や料金とは異なります

- ●リモコンに表示する使用量・料金などの値は目安です。
- トップ画面に表示されている電力などの値は、タイミングによっては実際の値とはずれが生じることがあります。
- ●リモコンのソフトウェアを更新した場合は、当日分の データが削除されることや正しい値を表示しないこと があります。
- 発電ユニットのソフトウェアを更新した場合は、正し い値を表示しない場合があります。
- ●リモコンに表示する料金に基本料金は含みません。

- ガス・電気の料金は、ご家庭に設置されている各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示する金額で請求されることはありません。(特にガスについては、発電ユニット以外で使用する場合があるため、請求額が大きく異なります)
- ガス・電気の実際の料金単価は、使用量に応じて変動します。また、料金プランによっては、料金単価が時間毎に変わる場合もあります。
- ●表示する値が記号の場合があります。
 エネルックの値がリモコンに表示できる桁数より大きくなった場合は、「#」を表示します。
 また、エネルックの値の計算が不可能な状態になった場合(例:使用電力量が「0」だった場合に、発電レポート(P13)の自給率の計算(発電量÷使用電力量×100)の値が出せないときなど)は、「−」を表示します。

ご使用前に

トップ画面で現在の エネルギーの状況を見る

●現在使っている電力、現在発電している電力、現在購入 している電力または売電・買電の状況を確認できます。



発電表示 発電中に表示します。 (表示例) 0.5 kw 1.2 kw V V V 0.10 m[%]h 0.7 kw 貯湯量表示 · オレンジ色:貯湯タンク内のお湯が満タンです 白色:貯湯タンク内のお湯が満タンではありません ・目標達成アイコン 目標値より使用実績が多いか少ないかを、花の数で お知らせします。(昨日までの使用状況を反映します) (\times) 目標より10%以上節約できています 目標より5~10%節約できています ほぼ目標どおり節約できています 目標に対して節約できていません

発電表示・貯湯量表示・目標達成アイコンについて

●参照: P18「目標値とは」

エネルックで 詳しい使用状況を見る

発電レポートで電気の状況を確認する

●電気の状況(発電量、使用電力量、購入電力量または売 電量・買電量、自給率)を、日・月・年単位で確認できます。

手順

- 1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
- 2. 【エネルック】→【発電レポート】をタッチする
 - (「日」の表示例)

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」 「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え



日単位・月単位・年単位に切り替え

(逆潮流の場合/「日」の表示例)

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」 「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え ー



日単位・月単位・年単位に切り替え

 ③発電量(発電ユニット)※1
 ③購入電力量
 ③発電量と使用電力量から計算した電気の自給率※2
 ③発電量と使用電力量の内訳を表すグラフ 緑:発電量 オレンジ:購入電力量 ⑥発電量(発電ユニット)のうちの売電量・自家への 供給電力量※1

⑥買電量

⑤発電量と使用電力量の内訳を表すグラフ 緑:売電量 黄緑:自家供給電力量 オレンジ:買電量

※1:自家への供給電力の金額は、電気(または買電) の料金単価を元に表示しています。(P17)

※2:自給率=発電量÷使用電力量×100

お知らせ

● 自給率が300%を超えたり、33%以下になったりした場合は、グラフの中が ~ で省略されます。

発電量の履歴を確認する

●日・月・年単位で確認できます。

手順

- 1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
- 2. 【エネルック】→【発電モニター】をタッチする

(逆潮流の場合の表示例)

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」 「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え



項目アイコン		
🔗 燃料電池発電量	発電ユニットの発電量と料金を 確認できます※1	
売電量※2	発電ユニットの売電量と料金を 確認できます	

- ※1:逆潮流なしの場合は、燃料電池発電量に表示する料 金は、電気の料金単価を元に表示します。 逆潮流の場合は、料金の表示はしません。
- ※2:逆潮流の場合のみ表示します。

- 各エネルギーの使用量などの履歴を確認する
- ●エネルギーの項目ごとに日・月・年単位で確認できます。

手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする

2. 【エネルック】→【使用量】をタッチする

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」 「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え



項目アイコン	料金表示	目標表示
使用電力量	(表示しない)	「月」のみ表示
購入電力量 (逆潮流の場合は 表示しません)	表示	「月」のみ表示
買電量 (逆潮流の場合のみ 表示します)	表示	「月」のみ表示
ガス使用量	表示	「月」のみ表示

各エネルギーの状況を料金で確認する

- ●各エネルギーの料金、料金全体の比率、エネルギー項目ごとの詳細(グラフ)を、月・年単位で確認できます。 詳細グラフでは現時点の目標と今月の目標も表示するので、省エネの意識づけに役立ちます。
- ●料金単価の設定は、P17「料金設定」の方法で変更できます。

手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする









- 光熱費とは、購入電力・ガスの使用料金を合計したものです。
- ●「目標」は「今月」のみ表示します。



(逆潮流の場合の表示例)

- 光熱費とは、買電力と売電力の差・ガスの使用料金を 合計したものです。
- 売電力の「目標」の値は表示しません。
- ●「目標」は「今月」のみ表示します。

お知らせ

● 昨年の値がない場合は、目標値を自動的に算出しま す。(P18「目標値とは」)

使用開始から現在までの発電の累積値を確認 する

手順

- 1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
- 2. 【エネルック】→【累積発電量】をタッチする

(表示例)

(トップ	累積発電	量	戻る	
	✔ 燃料電池				
	発電量	600 kwh	(1万2千円)	

- ●料金は千円単位で表示します。(千円未満切り捨て)
- 発電量の料金は、電気の料金単価を元に表示し ます。自家用の料金は、買電の料金単価を元に 表示します。(P17)
- 逆潮流の場合、「発電量」の表示が、「売電量」「自 家用」になります。

エネルックの設定を 変える

 エネルックをより便利に使うために、お好みに合わせ て設定が変更できます。

エネルック メニュー	項目	設定内容	初期設定
料金設定	電気 ※1	0~999円/kWh	20円/kWh
(P17)	買電 ※1	0~9999円/kWh	20円/kWh
	売電 ※1	0~9999円/kWh	10円/kWh
	ガス	0~9999円/m³	100円/m³
目標値設定	電気代	50~150%	100%
(P17)	ガス代	50~150%	100%
トップ画面の表示内容	目標達成 アイコン	アイコンの表示 [あり][なし]	あり
(P18)		対象 ※2 光熱費] 購入電力	光熱費
エネルック 初期化 (P18)	開始		_

※1:逆潮流の場合、「電気」ではなく「買電」「売電」を表示 します。

※2:逆潮流の場合、「購入電力」は「買電」になります。

料金設定

●料金単価は「ガス使用量のお知らせ」「電気使用量のお知らせ」などの明細書を参考にしてください。(各明細書について不明な場合は、ガス事業者・電気事業者にお問い合わせください)

手順

- 【メニュー】→【エネルック】→【エネルック設 定】をタッチする
- 2. 【料金設定】をタッチする

トップ	エネルック設定	戻る
料金設	定	
目標値	設定	1/2
トップ	画面の表示内容	

3. 設定したい項目の【▶】をタッチする

(表示例)

トップ	料金設定	戻る
電気	【 20円/kWh】	
ガス	【100円/m³】	1/1

● 逆潮流の場合は、「電気」ではなく「買電」と「売電」 の料金設定ができます。

4. 料金を変更→【決定】をタッチして確定する

(電気の表示例)

トップ		電気	戻る
25	円/kWh	現在設定値	20 円/kWh
			न हो
1	2 3	4	5
6	7 8	9	

- ●【決定】をタッチしないと、設定は完了しません。
- ●変更後の単価は、過去のデータにも反映されます。

目標値設定

● <目標値のヒント>昨年の実績と同じ程度の電気代・ガ ス代でよい場合は100%に、昨年より節約したい場合は 100%より少なく、昨年より多く使用する見込みがある 場合などは100%より多く設定してください。

手順

 【メニュー】→【エネルック】→【エネルック設 定】をタッチする

2. 【目標値設定】をタッチする



3. 設定したい項目の【▶】をタッチする

(表示例)		
トップ	目標値設定	戻る
電気代	【昨年同月比 100 % 】	
ガス代	【昨年同月比 100 % 】	

4. 目標値を変更→【決定】をタッチして確定する

(電気代の表示例)

トップ		電気	贰代		戻る
120	%	50~150 現在設	0%の間 定値 1(で設定で 00 %	きます。 「訂 正]
1	2	3	4	5	
6	7	8	9	0	

- ●【決定】をタッチしないと、設定は完了しません。
- ●「昨年同月」の値は、初年度は0円になります。

(つづく)



トップ画面の表示内容

トップ画面の目標達成アイコンを表示するかしないか・
 目標達成アイコンでどのエネルギーの状態を表示する
 かを変更できます。

手順

- 【メニュー】→【エネルック】→【エネルック設 定】をタッチする
- 2. 【トップ画面の表示内容】をタッチする

トップ エネルック設定	戻る
料金設定	
目標値設定	1/2
トップ画面の表示内容	

3. 「目標達成アイコン」の【 ▶】をタッチする

(表示例)



4. 変更したい項目の設定をタッチする



逆潮流の場合、対象は「光熱費」か 「買電」かを選べます。

エネルック初期化

変更したエネルック設定の値や、エネルギーデータ(数値・グラフ)を初期化できます。

手順

- 【メニュー】→【エネルック】→【エネルック設 定】をタッチする
- 右下の▼でページを送り、【エネルック初期化】 をタッチする



3. 【開始】を約5秒長押しする(ピピッと鳴るまで)



お知らせ

- ●累積発電量(P16)は初期化されません。
- ●初期化しても、当日分の数値やグラフは表示します。

無線LANルーターと接続してできること

- ●リモコンを無線LANルーターに接続すると、インターネットを利用した下記に示すサービスなどがご利用いただけます。ご 利用にはお客さまによる設定が必要です。この取扱説明書では、リモコンと無線LANルーター、リモコンとスマートフォン の設定を説明しています。
- ●下記の無線LAN機能を使用するには、リモコンで「無線LAN」の設定を【ON】にしておく必要があります。(P21~22の手順1~4)



無線LAN機能のご使用について

- ●サービスのご利用には常時接続のインターネット環境 が必要となります。
- ●インターネット環境・無線LAN環境・スマートフォン はお客さまでご準備ください。
- ●ご使用の無線LANルーター、スマートフォン、通信環 境によってはご利用できない場合があります。
- リモコンがサーバーと通信するため、インターネット の通信費がかかります。
- インターネット、スマートフォンのご利用に関わる料
 金は、お客さまのご負担となります。
- リモコンや発電ユニットのソフトウェアをサーバーから自動的にダウンロードし、更新する場合があります。
 無線LANルーターのファームウェアが最新でないと、
 リモコンや発電ユニットのソフトウェア更新やエネファームの通信等ができない場合があります。
 随時ファームウェアが最新であることを確認してください。
- アプリのサービス内容などは予告なく変更することが あります。
- ●以下の場合は、電波が届かなくなったり途切れたりする ことがあります。

- ・無線LANルーターがリモコンと離れすぎているとき
- ・壁・ドア・家具・金属などの障害物が近くにあるとき
- ・このリモコンの使用周波数帯(2.4GHz)と同じ周波数 を利用する機器が近くにあるとき
- ・無線LANルーターの接続台数の上限に達しているとき
- トップ画面に「無線LAN設定をおこなってく ださい」の表示が出ているとき

無線LANルーターと接続するまでお知らせ表示をします リモコンと無線LANルーターを接続するまでは、トップ

画面上方に下記のようなお知らせをくりかえし表示しま す。(状況によっては、あいだに違うお知らせ表示をはさ むこともあります)

P21~24の方法でリモコンと無線LANルーターを接続 すると、お知らせ表示は消えます。

> 無線LAN設定をおこなってください。 ↓ 約5秒

【メニュー】→【音・その他】→【無線LAN】 から設定できます。)

(つづく)

無線LANルーターと接続するまでのあいだ、一時的 にお知らせ表示を消したいときは

- P38「無線LAN機能をOFFにする」の方法で、「無線LAN」 を【OFF】にしてください。
- ※無線LANルーターと接続する際には「無線LAN」を【ON】 に戻してください。(【OFF】の状態では接続できません)

使用できる無線LANルーター

- <u>IEEE802.11bまたはg,nに対応していること</u>
 無線LANルーターの本体(側面や底面)に貼り付けされているシールや、パッケージの表示で確認できます。
 詳しくは、無線LANルーターの取扱説明書をご確認ください。
- セキュリティに関する設定が「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」」「WPA」いずれかの暗号化方式に対応していること 無線LANルーターの取扱説明書でご確認ください。
 ※「WPA」「WPA2」は、Wifi Allianceの商標です。
- DHCPサーバー機能を搭載していること 無線LANルーターの取扱説明書でご確認ください。
 ※モバイルルーターやテザリングではご使用いただけません。

無線LAN通信についての注意

このリモコンの使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ などの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン などで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を 要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線 局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用され ています。

- ●このリモコンを使用する前に、近くで移動体識別用の 構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局が 運用されていないことを確認してください。
- 万一、このリモコンから移動体識別用の構内無線局に 対して有害な電波干渉が発生した場合は、「無線LAN」 の設定を【OFF】にし、東邦ガスにお問い合わせください。
- ●その他、このリモコンから移動体識別用の特定小電力 無線局かアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の 事例が発生した場合は、東邦ガスにお問い合わせくだ さい。

●このリモコンに表示した 2.4DS/OF4 は、次の内 容を表します。

2.4	使用周波数帯域が2.4GHz帯であること を表します
DS/OF	変調方式が、DS-SS(直接拡散)方式およ びOFDM(直交波周波数分割多重)方式 であることを表します
4	想定される干渉距離が40m以下である ことを表します
	使用周波数の全帯域を使用し、かつ、移 動体識別装置の帯域の回避が可能である ことを表します

無線LANルーター使用時のセキュリティに 関する注意

- 無線LANルーターをご使用になる前に、無線LANルーターのセキュリティに関する設定が「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA2」「WPA2」「WPA」の暗号化方式であることを確認してください。これら以外のセキュリティ設定(WEPや暗号化なし)をおこなうと、無線LANルーターに接続できません。「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」「WPA」の暗号化方式で無線LANルーターに接続することで、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性が少なくなります。
 - 悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへア クセスし、
 - ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
 - ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報 を流す(なりすまし)
 - ・傍受した通信内容を書き替えて発信する(改ざん)
 - ・コンピュータウイルスなどを流しデータやシス テムを破壊する(破壊)
- ●本件のために生じた損害について、当社に責めのある 場合を除き、当社は一切の責任を負い兼ねますのであ らかじめご了承ください。

無線LANルーターを交換するとき

無線LANルーターを交換したら、以下の手順で接続設定 をやり直してください。

①リモコンと無線LANルーターとの接続(P21)をする
 ②「接続ルーター情報」(P40)で、交換した無線LANルーターのSSIDになっていることを確認する
 ③リモコンとスマートフォンの接続(P25)をする

ご使用のスマートフォンを変更するとき

機種変更、修理交換、譲渡等で、リモコンと接続されて いるスマートフォンを手放す場合は、手放す前に、その スマートフォンのエネファーム用アプリから接続を解除 してください。

接続されたままだと、第三者にそのスマートフォンから お客さまのエネファームの使用状況を見られるおそれが あります。

接続を解除し忘れた場合は、リモコンで「スマートフォン との接続全解除」(P28)をしてください。(ただし、接 続されているすべてのスマートフォンが接続解除されま す)

電波法に関する注意

このリモコンは、電波法に基づく特定小電力無線機器と して、技術基準適合証明を受けています。したがって、 このリモコンを使用するときに無線局の免許は必要あり ません。

- ●分解、改造をしないでください。分解、改造は法律で禁止されています。 このリモコンは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しています。その証明となる「技適マーク ♀」はリモコンで確認できます。(P40「認証」)
- ●このリモコンは日本国外での電波法には準じていま せん。日本国内でご使用ください。
- ●このリモコンは、電気通信事業者(移動通信会社・固 定通信会社・インターネットプロバイダー等)の通信 回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することがで きません。このリモコンをインターネットに接続す る場合は、必ずルーター等を経由し接続してくださ い。

リモコンと無線LANルー ターを接続する

準備

①日時あわせ(P10)をしておく

●「ネットワーク日時に同期」(P36)が【有効】になっていれば、日時あわせの必要はありません。

②無線LANルーターの以下の設定を確認する

- ・無線LANルーターのセキュリティに関する設定が 「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」の暗号化方式であ ること
- ・ 無線LANルーターのDHCP機能が「有効」に設定して あること
- ・ 無線LANルーターがステルス設定(SSIDの隠蔽状態)
 となっていないこと
- ※これら以外の設定では接続できません。

③無線LANルーターに自動接続設定用のプッシュボタン があるかどうか確認しておく

- ●プッシュボタンがない場合、またはわからない場合 は、無線LANルーターのSSIDと暗号化キーを控えて おいてください。(自動接続設定用のプッシュボタン の有無により、あとの手順が異なります)
- 無線LANルーターの自動接続設定用のプッシュボタ ンや各設定については、無線LANルーターの取扱説 明書をご覧ください。
- 無線LANルーターのSSID・暗号化キーについては、 無線LANルーターの本体に貼ってあるラベルまたは 取扱説明書をご覧ください。

④無線LANルーターの電源を入れる

⑤無線LANルーターがインターネットにつながっている ことを確認する

手順

1. 【メニュー】をタッチする



(つづく)

2. 【音・その他】をタッチする



 3. 右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチ する

トップ 音・その他	戻る
画面設定	
無線 LAN	2/4
画面のお手入れ	

4. 「無線LAN」が【ON】であることを確認する

トップ	無線 LAI	N	戻る
無線 LAN		ON	OFF
無線 LAN 設	定		
設定情報			

- ●【OFF】になっている場合は【ON】にしてください。
- 5. 「無線LAN設定」の【 ▶】をタッチする

トップ 無線 LAN	N	戻る
無線 LAN	ΟN	OFF
無線 LAN 設定		\mathbf{F}
設定情報		

6. 「ルーターとの接続」の【 ▶】をタッチする

トップ 無線 LAN	設定	戻る
ルーターとの接続		
スマートフォンとの接続		1/2
スマートフォンとの接続全解除		

 「ルーターとの接続」の【▶】がグレーになり設定 ができないときは、手順4で「無線LAN」が【ON】 になっているか確認してください。 表示内容を確認し、
 ①【次へ】をタッチする



②【同意して次へ】をタッチする



運転データの取扱いに関する以下の事項に同意 いただいたうえで、リモコンと無線LANルー ターを接続してください ●エネファームをネットワークに接続すると、

- ●エネファームをネットワークに接続すると、 その稼働状況や計測したエネルギーデータな どがサーバーへ自動的に送信されます。
- これらの情報は、エネファームの運転状況の 見守りや修理対応のための機器状況の確認、 商品・サービスの開発・改良目的で以下の事 業者が利用します。また、発電ユニットについては、遠隔で発電を停止、起動させる場合があります。
 ①ガス小売事業者(東邦ガス株式会社)
 ②発電ユニットの製造メーカー(株式会社ア イシン)

③お客さまがエネファームを購入した販売事 業者

●無線LANルーターに自動接続設定用のプッ シュボタンがある場合

→この続きの「簡単接続」の手順8へ

●無線LANルーターに自動接続設定用のプッ シュボタンがない場合/わからない場合

→P23「検索接続」の手順8へ

簡単接続(無線LANルーターに自動接続設定用の プッシュボタンがある場合)

8.「簡単接続」の【▶】をタッチする

トップ ルーターとの接続	戻る
簡単接続	
検索接続	

9. 【開始】をタッチする



- 10.2分以内に、無線LANルーターの自動接続設定 用のプッシュボタンを長押しする
 - ●ボタンの操作方法(長押しのタイミングなど)は、 無線LANルーターによって異なります。無線 LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 11.この画面になったら【OK】をタッチする



- ●無線LANルーターの機種や電波状態によって、 接続までの時間は異なります。
- 無線LANルーターに接続すると、トップ画面に 無線LAN状態表示
 ▲を表示します。
- ●無線LANルーターに接続した直後に、「処理中です。しばらく待ってから再度操作してください。」と表示されることがあります。続けて無線LAN機能に関する操作をしたい場合は、10分程度時間をおいてから操作してください。

「無線LANルーターとの接続に失敗しました」のメッ セージを表示したとき ①次のことを確認する

- ・無線LANルーターの電源が切れていないか

 →電源を入れる
- ・無線LANルーターが正常に動作しているか
 →同じ無線LANルーターを使っている機器がインター
 ネットに接続できているか確認する
 接続できていない場合は、無線LANルーターに異常
 がないか確認する
- ・無線LANルーターやリモコンの近くで、電子レンジを使 用していないか
 - →電子レンジを使用していないときに操作をする
- ・無線LANルーターがリモコンと離れすぎていないか、壁・ ドア・家具・金属などの障害物がないか
 - →無線LANルーターがつながる場所に無線LANルー ターを移動させるか、無線LAN中継器を使用する
- ・他の無線機器が電波を妨害していないか
 →無線LANルーターの取扱説明書やウェブサイトなどを参考に、無線LANルーターの無線チャンネルを、
 他の無線機器が使用していないチャンネルに変更する
- ・無線LANルーターのDHCP機能を「無効」にしていないか →DHCP機能を「有効」にする
- ・無線LANルーターが暗号化されているか、また、暗号化 方式がWEP方式になっていないか
 →暗号化方式を「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」のい
- ずれかに設定する ・無線LANルーターの接続台数の上限に達していないか →無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください
- ②【OK】をタッチし(手順8の画面に戻ります)、再度 「簡単接続」の手順8からやり直す
- 、 無線 ↓ A ↓度 N 機能
 - ●①の内容を確認後、手順8からやり直しても接続できない場合は、次の項の「検索接続」で接続してください。

検索接続(無線LANルーターに自動接続設定用の プッシュボタンがない場合/わからない場合)

8. 「検索接続」の【 ▶】をタッチする



9. 【開始】をタッチする



(つづく)

10.接続したい無線LANルーターのSSIDを探して、
 【▶】をタッチする

※接続したいSSIDが表示されていない場合は、右下の▼で ページを送る



- 暗号化方式がWEP方式の無線LANルーターや暗 号化されていない無線LANルーターは、表示さ れません。
- ●実際の画面では、「0」の部分はお客さまの環境で 受信しているSSIDが表示されます。

11.無線LANルーターの暗号化キーを入力

→ 【決定】をタッチして確定する



12.内容が間違いないか確認してから【接続】をタッ チする



●実際の画面では、「0」の部分はお客さまの環境で 受信しているSSIDが表示されます。

13.この画面になったら【OK】をタッチする



- ●無線LANルーターの機種や電波状態によって、 接続までの時間は異なります。
- ●無線LANルーターに接続すると、トップ画面に 無線LAN状態表示**ふ**を表示します。

●無線LANルーターに接続した直後に、「処理中です。しばらく待ってから再度操作してください。」と表示されることがあります。続けて無線LAN機能に関する操作をしたい場合は、10分程度時間をおいてから操作してください。

「無線LANルーターとの接続に失敗しました」の メッセージを表示したとき

「無線LANルーターが見つかりませんでした」の メッセージを表示したとき

①次のことを確認する

- ・無線LANルーターの電源が切れていないか →電源を入れる
- ・無線LANルーターが正常に動作しているか
- →同じ無線LANルーターを使っている機器がインター ネットに接続できているか確認する 接続できていない場合は、無線LANルーターに異常 がないか確認する
- ・無線LANルーターやリモコンの近くで、電子レンジを使 用していないか
 - →電子レンジを使用していないときに操作をする
- ・無線LANルーターがリモコンと離れすぎていないか、壁・ ドア・家具・金属などの障害物がないか
- →無線LANルーターがつながる場所に無線LANルー ターを移動させるか、無線LAN中継器を使用する ・他の無線機器が電波を妨害していないか
- →無線LANルーターの取扱説明書やウェブサイトなど を参考に、無線LANルーターの無線チャンネルを、 他の無線機器が使用していないチャンネルに変更する
- ・無線LANルーターのDHCP機能を「無効」にしていないか →DHCP機能を「有効」にする
- ・無線LANルーターが暗号化されているか、また、暗号化 方式がWEP方式になっていないか
 - →暗号化方式を「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」のい ずれかに設定する
- ・無線LANルーターの接続台数の上限に達していないか →無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください
- ・暗号化キーを間違えていないか

②【OK】をタッチし(手順8の画面に戻ります)、再度 「検索接続」の手順8からやり直す

●①の内容を確認後、手順8からやり直してもなお接続で きない場合や、無線LANルーターが見つからないことが 続く場合は、無線LANルーターが正常に動作しているか 確認してください。また、近くに電波を妨害するものが ある可能性があります。無線LANルーターの取扱説明書 やホームページなどをご覧ください。

リモコンとスマートフォン を接続する

準備

①日時あわせ(P10)をしておく

- ●「ネットワーク日時に同期 | (P36) が【有効】になっ ていれば、日時あわせの必要はありません。
- ②トップ画面に無線LAN状態表示 か表示されているこ とを確認する(出ていない場合は、P21~22の手順 1~4をおこなう)
- ③スマートフォンと無線LANルーターを接続する
 - ●リモコンとスマートフォンは、同じ無線LANルーター の同じSSIDに接続してください。リモコンと接続し た無線LANルーターのSSIDは、P40の方法で確認 できます。

④スマートフォンにエネファーム用アプリをダウンロー ドし、アプリを立ち上げる

●スマートフォン側の設定・操作については、エネ ファーム用アプリのウェブサイトをご覧ください。 https://iot-gas.jp/manual/ enefarmapp20/ntop/

i ka	

手順

- 1. 【メニュー】→【音・その他】→ 右下の▼でペー ジを送り、【無線LAN】をタッチする
- 2. 「無線LAN設定」の【 ▶】をタッチする

トップ	無線 LAN	N	戻る
無線 LAN		ON	OFF
無線 LAN 影	定		
設定情報			

3. 「スマートフォンとの接続」の【 ▶】をタッチする

トップ	無線 LAN i	设定	戻る
ルーター	-との接続		
スマートス	フォンとの接続		1/2
スマートフォ	ンとの接続全解除		

- ●「スマートフォンとの接続」の【 ▶】がグレーにな り設定ができないときは、以下を確認してくだ さい。
 - ・手順2で「無線LAN」が【ON】になっているか
 - ・トップ画面に無線LAN状態表示るやMが表 示されているか

4. 【開始】をタッチする



5. 3分以内に、スマートフォンのエネファーム用 アプリを立ち上げ、アプリの説明に従って操作 する

L A	
N 機能	

- ●スマートフォンの操作をせずに約3分経過する と、接続失敗画面になります。
- この画面が出たら【承認する】をタッチする



7. この画面になったら【OK】をタッチする



「スマートフォン(携帯端末)との接続に失敗しまし た」のメッセージを表示したとき

①次のことを確認する

- ・リモコンとスマートフォンは、同じ無線IANルーターの SSIDに接続されているか
- →同じ無線LANルーターの同じSSIDに接続する ・無線LANルーターやリモコン・スマートフォンの近くで、
- 電子レンジが動作していないか →電子レンジが動作していないときに接続操作をする

(つづく)

- ・無線IANルーターがリモコンと離れすぎていないか、壁・ ドア・家具・金属などの障害物がないか
 - →電波受信レベル(P40)を確認しながら、無線LAN ルーターがつながる場所に無線LANルーターを移動 させるか、無線LAN中継器を使用する
- ・停電などで日時がリセットされていないか →日時をあわせる(P10) (「ネットワーク日時に同期」(P36)が【有効】になっ ていれば、日時あわせの必要はありません)
- ②【OK】をタッチし(手順4の画面に戻ります)、再度 手順4からやり直す
 - ●リモコンと接続した無線LANルーターのSSIDは、P40 「接続ルーター情報」をご覧ください。
 - ●①の内容を確認後、手順4からやり直してもなお接続で きない場合は、無線LANルーターが正常に動作している か確認してください。また、近くに電波を妨害するもの がある可能性があります。無線LANルーターの取扱説明 書やホームページなどをご覧ください。それでも解決し ない場合は、東邦ガスにお問い合わせください。

「登録台数が上限に達しています」のメッセージを表 示したとき

- ①スマートフォンのエネファーム用アプリで、不要 な登録を解除する
 - ●P28「すべてのスマートフォンとの接続を解除する」で も解除できます。
- ②【OK】をタッチし(手順4の画面に戻ります)、再度 手順4からやり直す
 - ●リモコンとスマートフォンは、10台まで接続できます。 スマートフォンの機種変更などで登録が増え、11台目を 接続設定しようとすると、この画面になります。

ツナガルスイッチを操作 する

- ●リモコンの「ツナガルスイッチ」をタッチすると、あら かじめ設定したサービスにワンタッチでつながること ができます。
- ●「ツナガルスイッチ」を利用するには、リモコンと無線 LANルーターとの接続(P21)、リモコンとスマート フォンとの接続(P25)が必要です。

進備

エネファーム用アプリでサービスを設定しておく

 ●設定できるサービスや設定方法については、下記の URLから確認してください。 https://iot-gas.jp/manual/ enefarmapp20/nef22/tsunagaru/



手順

1. トップ画面で【ツナガル】をタッチする



●「ツナガルスイッチ」の操作が受け付けられたら、 「送信完了しました。」の画面を3秒間表示します。

リモコンにメッセージを表示したとき

- ●「通信が実施できません。通信状態や無線LAN設 定をご確認の上 再度実施してください。」と表示 したとき
 - ・リモコンと無線LANルーターが接続されているか →接続されていない場合は、リモコンと無線LANルー ターを接続し(P21)、再度操作する
 - ・「無線LAN」メニューの「無線LAN」の設定が【OFF】になっ ていないか
 - →【OFF】になっている場合は【ON】にし、再度操作する
 - ・トップ画面の無線LAN状態表示(P8)がこになってい るか

→なっていない場合は、P45「リモコンの無線LAN 状態表示」の項目を確認し、無線LAN状態表示が こになった状態で再度操作する

配信情報を見る

●「アプリの設定後に再度実施してください。」と表示したとき

エネファーム用アプリでサービスの設定をしてから、再度 操作する

●「サーバーへの通信に失敗しました。」と表示した とき

メンテナンス等で一時的にサーバーに接続できない場合が あるため、少し時間をおいて再度操作する

- アプリまたはエネファームの販売事業者等から送信されたメッセージを確認できます。
- ●配信情報を受信するためには、リモコンと無線LANルー ターとの接続(P21)が必要です。

手順

1. トップ画面で【配信情報】をタッチする



- 2. 確認したい項目の【▶】をタッチする



●メッセージは最大3件まで記憶します。(4件以 上になると古いメッセージから順に上書きされ ます)

お知らせ

●最後に受け付けられた「ツナガルスイッチ」の操作を 確認することができます。(P41「ツナガルスイッ チ操作履歴」)

お知らせ

- ●重要な配信情報を受信したときは、音声が鳴る場合 があります。
- ●配信情報を受け付けたくない場合は、P39「配信 情報を受け付けないようにする」を【OFF】に設定して ください。

すべてのスマートフォン との接続を解除する

●リモコンに接続されているすべてのスマートフォンの 接続を解除できます。個別の接続解除はスマートフォ ンでおこなってください。

手順

- 1. 【メニュー】→【音・その他】→ 右下の▼でペー ジを送り、【無線LAN】をタッチする
- 2.「無線LAN」が【ON】であることを確認する
 - ●【OFF】になっている場合は【ON】にしてください。
- 3. 「無線LAN設定」の【 ▶】をタッチする

トップ 無線 LAN	٧	戻る
無線 LAN	ΟN	OFF
無線 LAN 設定		
設定情報		

イントンタンとの接続全解除」の【▶】をタッチする



- ●「スマートフォンとの接続全解除」の【▶】がグ レーになり設定ができないときは、手順2で「無 線LAN」が【ON】になっているか、また、リモコ ンにスマートフォンが1件以上登録されているか (P40「設定情報」接続UUIDリスト)、確認して ください。
- 5. 【開始】を約5秒長押しする



停電時に電気を使う <停電時発電継続運転>

●リモコンに表示される「自立」という言葉は、「停電時発 電継続運転」のことを表します。

災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、 停電時発電継続運転しない
禁止 火災などの原因になります。

停電時にも電気が使える「停電時発電継続運 転」のしくみ

- 発電ユニットの発電中に停電した場合、発電ユニット は停電時発電継続運転によって発電を継続するので、 電気を使うことができます。(停電時発電継続運転のた めに必要な工事をおこなっている場合です)
- 停電時発電継続運転時の発電量は最大約700Wです。
- ●(停電時発電継続仕様の場合)
 - ・電気機器は停電時専用コンセントを通して使用でき ます。(停電時専用コンセントには「エネファーム」/ 「停電時自立発電専用」と表示しています。事前に設 置場所を確認してください)
 - ・給湯機器の電源は入らなくなりますが、給湯栓を開 ければ約30℃のお湯が出る場合があります。
- ●(停電時発電継続(DC出力)仕様の場合) ハイブリッド蓄電システムから家中のすべてのコンセントや照明器具などに電気が供給されます。電気機器の使用については、ハイブリッド蓄電システムの取扱説明書をご覧ください。
- 停電時発電継続運転は、停電時のみ使用してください。 (普段使用すると、本来の機能やメリットが損なわれ、 故障の原因となります)



停電時

<停電時発電継続仕様>

発電ユニットで作られた電気を停電時専用コンセントから 供給します



<停電時発電継続(DC出力)仕様>

ハイブリッド蓄電システムから家中のすべてのコンセント や照明器具などに電気を供給します



停電

時発電継続運.

転

以下の場合は停電時発電継続運転できません

- ●発電ユニットの停止中に停電した場合
- ●災害などでガスの供給が停止している場合
- 停電時発電継続運転開始後に、「不在停止」(P34) や 「発電禁止」(P35) などで停電時発電継続運転を停止 させた場合

停電に備え、使用できる電気機器を確認して おいてください

<u>小警告</u>

ガスファンヒーターの使用について

● ガスファンヒーターを使用中は部屋の換気に注意す る。

必ず1時間に1~2回(1~2分)程度、窓を開けるなど して換気をおこなってください。

- 停電時発電継続運転中、使用できる電力が少なく、 ガスファンヒーターを使用すると過負荷で停電する 場合は使用しない。
- ガスファンヒーター運転中に停電が発生したときは 温風の吹出□や機器背面(エアフィルター部や取手部 分)に手を触れない。(やけどのおそれ)
- ●停電時発電継続運転中、ガスファンヒーターを使用 しているときに異常を感じた場合には、ただちにガ ス栓を閉めてガスファンヒーターの使用を中止し、 東邦ガスに連絡する。

(つづく)

停電時発電継続仕様の場合

使用できる電気機器の例(消費電力の目安)

- ●使用する電気機器の消費電力の合計が700Wを超えないよう、取扱説明書や本体の表示シールなどで電気機器の消費電力を確認してください。
- ●使用電力が発電量を超えると、電気機器の使用中に電 気が使えなくなります。

교노 液晶テレビ ノートパソコン 卓上LED照明 ラジカヤ 50W 20W 20W 85W スマートフォン・ 携帯電話の充電 扇風機 ガスファンヒーター 15W 40W 30W/

使用してはいけない電気機器

- ・電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある 機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器

停電時発電継続(DC出力)仕様の場合

●ハイブリッド蓄電システムの取扱説明書をご覧ください。

計画停電や工事などで停電が予定されている 場合は

26日間連続して発電すると、27日目に約24時間発電が停止するしくみになっています。停電時発電継続運転と発電が停止するタイミングが重なると、停電時発電継続運転ができなくなります。停電予定日がわかっている場合は、事前に次の確認と操作をして、スムーズに停電時発電継続運転ができるよう備えてください。

停電予定日の2日以上前には、この確認・操作を おこなってください



「発電禁止」(P35)の設定を「しない」に戻す

停電したら(停電時発電継続運転のしかた)

● 停電中に発電を停止させると、停電が復旧するまで発 電できなくなるため、注意してください。

手順

1. トップ画面で「自立」が交互表示していることを 確認する



使用電力

(停電時発電継続(DC出力)仕様)の場合は、 電気の使用中も「0.00kW」と表示します)

- ●「自立用コンセントの出力を準備中です。」の画面 を表示している間は、準備中のためまだ電気は 使えません。
- 停電時発電継続運転開始後は、すぐには700W は使用できません。発電電力は徐々に上昇し、 700W(表示は「0.70kW」)になるまでに約90秒 かかります。(ただし、発電ユニットの状態によっ ては90秒以上かかることがあります)
- <停電時発電継続仕様の場合> 電気機器の電源プラグを停電時専用コンセント に差し込む(電気機器が使えます)



- 使用する電気機器との合計が発電電力(最大700W)を超えないよう使用電力表示を見ながら、1つずつ電気機器を追加してください。
 (P29「停電に備え、使用できる電気機器を確認しておいてください」)
- <電気機器の電源を入れたとき>電気機器の種 類によっては一時的に使用できない場合があり

ます。90秒ほど待つと使用できるようになるため、電気機器をつないだままにしてください。

- ※約90秒待っても使用できない場合は、使用電 力が発電量を超えているため、すぐに電気機 器の数を減らしてください。
- 停電時発電継続運転中は、リモコンの貯湯量を 確認していただき、運転を継続するために給湯 栓よりお湯を使用して減らしてください。
- ●使用してはいけない電気機器があるので、ご注 意ください。(P30)

電気機器の使用中に電気が使えなくなったとき (使用電力が発電量を超えています)

①接続した電気機器をすぐに取り外す
 ②リモコンのトップ画面に「自立」が交互表示するまで待つ
 ③「自立」が交互表示したら、手順2に従って使

●しばらくしても停電時発電継続運転が復帰せず、リモコンに「自立用コンセントの出力が準備できました。使用する電気を減らし【再開】を押してください。」とメッセージを表示しているときは、メッセージに従って操作をしてください。(停電時発電継続運転が復帰します)

<停電時発電継続(DC出力)仕様>

用する

通常のコンセントやブレーカーに接続している電 気機器が使えます

停電

● 詳細は、ハイブリッド蓄電システムの取扱説明 書をご覧ください。

(停電時発電継続仕様の場合) 高出力モードで停電時発電継続運転をする

停電時発電継続運転時の発電量は700Wですが、条件に よっては700W出力できないことがあります。 トップ画面に【自立発電能力】が表示されている間は、強 制的に700Wまで出力を上げることができます。以下の 手順で高出力モードに設定して使用してください。

手順

1. トップ画面の【自立発電能力】をタッチする



2. 【高出力】をタッチする



3. 700Wの出力が不要になれば、手順1~2の操作で 【通常】をタッチして通常モードに戻す



●700Wで使用し続けると、発電が停止しやすく なりますので、こまめに通常モードに戻してく ださい。



- ・外気温が高い
- ・お湯使用量が少ない

再度、高出力モードで使用したい場合は、【自立発電 能力】が表示されるまでお湯を使用してください。

停電時発電継続運転を停止させるには

「発電禁止」(P35)を【する】に設定し、発電を停止させる

● 発電を停止させると、停電が復旧するまで発電できま せん。

(停電時発電継続仕様の場合) 停電が復旧したら

電気機器の運転スイッチを切り、電気機器の電源プ ラグを停電時専用コンセントから抜く



- 停電が復旧すると、停電時専用コンセントへの電気の 供給が停止します。
- ●電気機器をつないだままにすると、次回の停電時発電
 継続運転時に接続した機器に突然電気が流れ、機器を 損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。

メニューから運転操作をする・設定を変える(ユーザー設定)

- ●各メニューから運転操作ができたり、いろいろな設定を変更できます。以下の一覧から、参照ページに記載の手順で操作し てください。
- ●表中の「初期化」欄の★は、P42「ユーザー設定を初期値に戻す」を実行したときに初期化される項目です。

	変更(操作)できる内容	参照 ページ	初期設定(工場出荷時)	初期化
	何日か不在にするときなどに、発電をしばらく停止させる(不在停止)	P34	しない	_
77.	今までに発電を停止した回数を確認する	P34	_	—
発	発電ユニットが停止するまでの日数を確認する	P34	_	—
	発電ユニットの水抜きをするときなどに、強制的に発電を停止させる(発電 禁止)	P35	しない	_
	リモコンの音量を変更する	P35	■)) 中	*
	音声ガイド(声によるお知らせ)を消す(鳴らす)	P35	する	*
	日時あわせをする	P10	_	_
	時刻のずれを補正する	P36	0	_
	ネットワーク日時に同期する	P36	有効	*
	タッチ位置のずれを直す	P36	_	_
	画面の明るさを変更する	P37	3段	*
	表示の節電をしない(する) リモコン操作がない間は日時を大きく表示させる	P37	する	*
	表示の節電をするまでの時間を短くする	P38	標準	*
	トップ画面のモードを変更する	P9	ライト	*
音	無線LAN機能をOFFにする	P38	ON	*
・ そ	リモコンと無線LANルーターを接続する	P21	_	*
の他	リモコンとスマートフォンを接続する	P25	_	*
	すべてのスマートフォンとの接続を解除する	P28	_	—
	通信機能をリセットする	P39	_	—
	配信情報を受け付けないようにする	P39	ON	*
	無線LANに関する設定情報を確認する	P40	_	*
	タッチパネルのお手入れをする	P41	_	—
	発電ランプの明るさを変更する	P41	明るい	*
	発電ランプの節電お知らせ設定値を変更する ※	P41	1.2kW	*
	発電ユニットの水抜きをする	P41	_	-
	発電ユニットの水張りをする	P42	_	_
	アフターサービスなどで機器情報が必要なとき	P42	_	_
	ユーザー設定を初期値に戻す	P42	_	_

※逆潮流の場合は表示しません。

何日か不在にするときなどに、発電をしばら く停止させる(不在停止)

- ●10日以上家をあけるなど、発電をしばらく停止したい ときに設定してください。
- ※10日以上お湯を使用せず、リモコン操作もしない状態 が続くと、自動的に不在停止になります。

手順

①【メニュー】→【発電】→【不在停止】をタッチする

② 設定したい内容をタッチする



【する】

画面が消灯し、発電ユニットが停止します。 (凍結予防運転は停止しません) 停止するまでに約10~12時間※かかります。 ※機器の状態によって異なります。

【しない】

不在停止を解除する

- ●不在停止を【する】に設定したあと再度【しない】 に設定した場合は、発電ユニットの停止動作が 完了してから起動します。起動してから発電を 開始するまでに約4時間※かかります。 ※機器の状態によって異なります。
- ●長期不在時に凍結のおそれがある場合は、この 方法ではなく水抜きが必要です。(発電ユニット の取扱説明書)
- ●必要なとき以外は、不在停止を【する】にしないでください。機器の寿命低下の原因になります。

ご注意ください 不在停止設定を【する】にした後5時間以上経過 後に、次の操作をおこなわないでください。不

在停止が解除されてしまいます。不在停止設定 後はなるべくリモコンに触れないでください。

- ・発電専用リモコンのON/OFFスイッチを 「入」にする。
- ・発電専用リモコンのタッチパネルをタッチ する。
- ・給湯栓を開ける。(給湯機器のリモコンの 「入」「切」に関わらず解除されます)

今までに発電を停止した回数を確認する

手順

①【メニュー】→【発電】→【発電停止回数】をタッチする

(表示例)



P34「不在停止」と P35「発電禁止」により 手動で停止した回数

発電ユニットが停止するまでの日数を確認する

●26日間連続して発電すると、ガスメーター(マイコン メーター)の誤警報防止のために発電ユニットが1日停 止するしくみになっています。

手順

①【メニュー】→【発電】→【発電停止予定】をタッチする



発電ユニットの水抜きをするときなどに、強 制的に発電を停止させる(発電禁止)

手順

- ①【メニュー】→【発電】→【発電禁止】をタッチする
 ※項目が表示されていない場合は、右下の▼でページを送る
- ② 設定したい内容をタッチする



- ●必要なとき以外は、発電禁止を【する】にしないでください。機器の寿命低下の原因になります。
- 発電禁止を【する】に設定したあと再度【しない】
 に設定した場合は、発電ユニットの停止動作が
 完了してから発電ユニットを起動します。起動してから発電を開始するまでに約4時間※かかります。

※機器の状態によって異なります。

リモコンの音量を変更する

手順

- ① 【メニュー】→【音・その他】→【音】をタッチする
- ② 「音量」の【 ▶】をタッチする

③【-】【+】で変更する



 「音声ガイド(声によるお知らせ)」のみ消したい とき→下記「音声ガイド(声によるお知らせ)を消 す(鳴らす)」

音声ガイド(声によるお知らせ)を消す(鳴らす)

手順

①【メニュー】→【音・その他】→【音】をタッチする
 ②「音声ガイド」の【 ▶】をタッチする
 ③ 設定したい内容をタッチする

トップ	音声	ガイド	戻る
	マイッチョ	曼作受付時(ת
	声の有無を	変更できま	す。
	する	しな	L)
	- <u>-</u>		

日時あわせをする

● P10「日時をあわせる」で説明しています。

時刻のずれを補正する

●無線LANルーターと接続すると、インターネットを介 して自動で日時を取得するため「時刻補正」の必要はあ りません。

(ただし、「無線LAN」の設定(P38)を【OFF】にしたり、 「ネットワーク日時に同期」の設定(P36)を【無効】に したりすると、自動で日時は取得できません)

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→【日時設定】をタッチする
- ② 「時刻補正」の【 ▶】をタッチする
- ③【-】【+】で変更する



設定範	囲(秒/月])				
-45、	-30、	-15、	0、	+15、	+30、	+45

リモコンの時刻が進む場合は+側、遅れる場合は-側の数値を設定してください。
 (例)時刻が1年で3分遅れる場合は、-15秒/月に設定する。(1年で3分=1か月で15秒)

ネットワーク日時に同期する

手順

① リモコンと無線LANルーターを接続しておく(P21)
 ② 【メニュー】→【音・その他】→【日時設定】をタッチする
 ③ 「ネットワーク日時に同期」の【 ▶】をタッチする
 ④ 設定したい内容をタッチする

トップ	ネットワー	ク日時に同期	月戻る	
取得	日時情報 身するかどう	を自動的に うか設定できま	きす。	
	有効	無効		
【有効】	1810.	自動的に[日時情報を取	得する
【無効】	日時情報	の取得を自	動ではしな	5

●【無効】に設定していた場合に【有効】をタッチす ると、すぐに日時情報を取得して日時をあわせ ます。

タッチ位置のずれを直す

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→【タッチパネル補正】をタッ チする
- ②【開始】をタッチする

タッチ位置の補正ができます。	
開始	

③「+」を長押しする



- ●画面をタッチすると、タッチパネル補正画面に 戻ります。
- ●完了の画面にならない場合は、「+」の認識範囲 以外の部分に、手が先に触れている可能性があ ります。

画面の明るさを変更する

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【画面設定】をタッチする
- ② 「画面の明るさ」の【 ▶】をタッチする
- ③【-】【+】で変更する



表示の節電をしない(する) リモコン操作がない間は日時を大きく表示さ せる

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【画面設定】をタッチする
- ② 「表示の節電」の【 ▶】をタッチする
- ③「表示の節電設定」の設定したい内容をタッチする



【する】 表示の節電をする 【しない1(時計なし)】 表示の節電をしない 【しない2(時計あり)】 ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチした りしないまま約10分※たつと、リモコンに日時 を大きく表示させる(表示の節電はしません) ※時間を短くすることができます。(P38「表示 の節電をするまでの時間を短くする」)

表示の節電をするまでの時間を短くする

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【画面設定】をタッチする
- ② 「表示の節電」の【 ▶】をタッチする
- ③「節電までの時間設定」の設定したい内容をタッチする





● P37「表示の節電設定」を「しない2(時計あり)」 に設定している場合は、日時を大きく表示するま での時間が変わります。

トップ画面のモードを変更する

● P9「トップ画面のモードを切り替える」で説明しています。

無線LAN機能をOFFにする

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【無線LAN】をタッチする
- ②「無線LAN」の設定したい内容をタッチする

トップ 無線 LA	N	戻る
無線 LAN	ON	OFF
無線 LAN 設定		
設定情報		

リモコンと無線LANルーターを接続する

●P21「リモコンと無線LANルーターを接続する」で説 明しています。

リモコンとスマートフォンを接続する

● P25「リモコンとスマートフォンを接続する」で説明しています。

すべてのスマートフォンとの接続を解除する

● P28「すべてのスマートフォンとの接続を解除する」 で説明しています。

通信機能をリセットする

 トップ画面に無線LAN状態表示 ♪が表示されているに も関わらず、通信ができない場合や、考えられる処置 をしてみてもどうしても通信ができない場合に、下記 の手順で通信機能のリセットをおこなってください。

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【無線LAN】をタッチする
- ②「無線LAN設定」の【▶】をタッチする
- ③ 右下の▼でページを送り、「通信機能のリセット」の
 【▶】をタッチする
- ④【開始】を約5秒長押しする



- ●通信機能のリセットをおこなうと、数分間は無 線通信できません。そのため、エネファーム用 アプリに表示されるエネルックのデータが実際 の使用状況とずれることがあります。
- ⑤ 通信機能のリセット後、通信に関する不具合が解消できたかどうか確認するそれでも通信できない場合は、東邦ガスに連絡してください

配信情報を受け付けないようにする

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【無線LAN】をタッチする
- (2)「無線LAN設定」の【▶】をタッチする
- ③ 右下の▼でページを送り、「配信情報の設定」の【▶】を タッチする
- ④ 設定したい内容をタッチする



配信情報を受け付ける 【OFF】 配信情報を受け付けない (緊急時には情報を配信する場合があります)

無線LANに関する設定情報を確認する

- 接続に失敗したときや、お問い合わせの際などに必要 な設定情報を確認できます。
- ●リモコンと接続した無線LANルーターのSSIDを確認す るには「接続ルーター情報」、リモコンと接続したスマー トフォンの数を確認するには「接続UUIDリスト」をご覧 ください。
- P21「電波法に関する注意」の「技適マーク€は、「認 証」の【▶】をタッチすると、認証の画面(電子銘板)で表 示されます。

① 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、

② 「設定情報」の【 ▶】をタッチする ③ 確認したい内容の【▶】をタッチする ※確認したい内容が表示されていない場合は、右下の▼でペー ジを送る トップ 設定情報 戻る 接続ルーター情報 リモコンアドレス 1/3 -接続 UUID リスト

【無線LAN】をタッチする

手順

(接続ルーター情報の表示例)

_		
1	トップ	接続ルーター情報 戻る
	SSID	00000000000000000000000000000000000000
	暗号化	;方式 00000000000000000000000

●「0」には英数字が表示されます。また、表示例と 桁数が異なる場合があります。





●「0」には英数字が表示されます。また、表示例と 桁数が異なる場合があります。 (接続UUIDリストの表示例)

トップ) 接続 UUIE)リスト 戻る	
1	000000	6 000000	
2	000000	⑦ 000000	
3	000000	8 000000	
4	000000	9 000000	
5	000000	000000 (1)	

- UUIDとは、スマートフォンを識別するIDです。 リモコンとスマートフォンが接続されている場合、接続されている数だけ表示されます。リモコンとスマートフォンが接続されていない場合は①~⑩の「0」は空白になります。
- ●「0」には英数字が表示されます。また、表示例と 桁数が異なる場合があります。

(モジュールバージョンの表示例)



●「0」には英数字が表示されます。また、表示例と 桁数が異なる場合があります。

(電波受信レベルの表示例)



●バー表示が4段以上であることが、安定した受信 環境の目安です。

(認証(電子銘板)の表示例)



参照: P20「無線LAN通信についての注意」
 P21「電波法に関する注意」

(ツナガルスイッチ操作履歴の表示例)

トップ ツナガルスイッチ	操作履歴(戻る)
前回成功対象 台所リモコン	
前回成功時間 2020/05/31	15:00

最後に受け付けられた「ツナガルスイッチ」の操作がいつ受け付けられたかを表示します。
 ※この画面での「台所リモコン」は、発電専用リモコンのことを表します。

タッチパネルのお手入れをする

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【画面のお手入れ】をタッチする
- ②【開始】をタッチする



● ON/OFFスイッチを押すか、操作後約10分経過 すると、お手入れモードは解除されます。

発電ランプの明るさを変更する

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【発電ランプ】をタッチする
- ② 「明るさ」の【 ▶】をタッチする
- ③ 設定したい内容をタッチする



発電ランプの節電お知らせ設定値を変更する

- ●日常的に使用電力が多く、発電ランプが頻繁にオレン ジ色(節電お知らせ)になる場合などに、設定値を多め に設定してください。
- ●逆潮流の場合は項目を表示しません。

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【発電ランプ】をタッチする
- ②「節電お知らせ設定値」の【 ▶】をタッチする
- ③【-】【+】で変更する



設定範囲(kW) 1.0~6.0

発電ユニットの水抜きをする

●この設定だけでは発電ユニットの水抜きはできません。 必ず発電ユニットの取扱説明書の該当ページをご覧く ださい。

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、
 【発電ユニットの水抜き】をタッチする
- ②【開始】をタッチする



メニューから運転操作をする・設定を変える(ユーザー設定) 41

発電ユニットの水張りをする

●この設定だけでは発電ユニットの水張りはできません。 必ず発電ユニットの取扱説明書の該当ページをご覧く ださい。

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、
 【発電ユニットの水張り】をタッチする
- ②【開始】をタッチする



アフターサービスなどで機器情報が必要なとき

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、 【機器情報】をタッチする
- ② 確認したい内容の【▶】をタッチする

トップ	機器情報	戻る
発電ユニッ	ット情報	
リモコンヤ	青報	



(発電ユニット情報の表示例)

トップ	発電ユニット情報 戻る
機種名	:000000000000000000
バージョン	:00000000000000000
逆潮設定	: なし
減音モード	: OFF

●「0」には英数字が表示されます。

(リモコン情報の表示例)



●「0」には英数字が表示されます。

ユーザー設定を初期値に戻す

●P33の表中の「初期化」欄に★のある項目が初期化されます。

手順

- 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、
 【全設定初期化】をタッチする
- ②【開始】を約5秒長押し(ピピッと鳴るまで)



●ユーザー設定以外に、配信情報スイッチをタッ チしたあとに表示される配信情報(P27)も初 期化されます。

リモコンのお手入れ

- ●リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。
- ON/OFFスイッチが「切」でも、画面をタッチすると反応するしくみになっています。

画面のお手入れ時にリモコンの誤操作を防ぐためには、 【メニュー】→【音・その他】→【画面のお手入れ】(P41) の設定をしてください。

お願い

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗 剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミン スポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

故障・異常かな?と 思ったら

●発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

絵表示の説明

- ? こんなときは(状況)
- こんなことが考えられます(原因)
- → こうしてください(処置)



(つづく)

こんなとき

木

ったと

き



リモコンの操作中に、いきなり画面が消えた

 ■発電ユニットのソフトウェアの更新が始まると、リモ コンの画面が消えて、しばらく操作できなくなります。
 →異常ではありません。



エネルック

(蓄電池を使用している場合) 使用電力量の表示が、実際に使っている電力量より 多い(または少ない)

 ■蓄電池が充電または放電しているときは、家庭内で 使用している電力量より多く表示されたり少なく表 示されたりすることがあります。
 →異常ではありません。

(逆潮流の場合)発電モニターの燃料電池発電量が減 少している時間帯がある

- ■「遠隔制御サービス」など※に加入している場合、発 電ユニットの出力や発電量が遠隔制御されている可 能性があります。
- ※インターネットを通じて、エネファームの遠隔制 御が可能となるサービスです。
- →異常ではありません。

リモコンにメッセージを表示したとき 🕐 「セルフチェックを実施しています。/完了後、発 電を自動的に再開します。
 (交互に表示) ■発電ユニットの異常を検知してセルフチェックをし ています。この表示が出ている間は発電が停止して います。 ➡この表示が消えると発電を再開します。 -----?「ただいま表示をOFFにすることはできません。」 ■停電時発電継続運転中や、故障表示中など、表示を 消灯させてはいけない状況のときにON/OFFスイッ チを「切」にしようとすると、この表示が出ます。 ➡操作可能な状態になると、この表示は出なくなり ます。 「機器に空気が混入しているため、発電ユニットの 水張りをしてください。」 ➡発電ユニットの取扱説明書にしたがって、「発電ユ ニットの水張り」をしてください。 「発電ユニットの点検時期が近づいています。」 「発電ユニ 「ットの点検が必要です。」 「発電ユニットの点検時期を過ぎています。」 →東邦ガスに連絡してください。 「発電ユニット停止までお待ちください。」 ➡発電ユニットが停止し、「(①) スイッチを押してエラー が解除されない場合は、メンテナンスを依頼してく ださい。」のメッセージが表示されるまでお待ちくだ さい。(時間がかかります) その後、下記『「①スイッチを押してエラーが解除さ れない場合は、メンテナンスを依頼してください。」 の表示が出る』の内容にしたがって、処置をしてくだ さい。 「②スイッチを押してエラーが解除されない場合は、 メンテナンスを依頼してください。」 (発電は停止しています) →ON/OFFスイッチを押して、表示が消えれば問題あ りません。表示が消えない場合は、東邦ガスに連絡 してください。 「処理中です。しばらく待ってから再度操作してくだ さい。」 「データの取得に失敗しました。取扱説明書をご確認 の上もう一度やり直してください。」 ■無線通信に必要なソフトウェアを自動的に更新して いるときなどで通信が混雑していると、一時的に通 信できない場合があります。 →10分程度時間をおいて、再度操作する。 再度操作しても同じ場合は通信機能をリセットし てください。(P39) ※それでも同じ現象であれば、故障の可能性があ るので、東邦ガスにご連絡ください。

無線LAN機能



■無線LANルーターと接続していても、「無線LAN」の 設定が【OFF】になっていると無線LAN状態表示は表 示されません。

➡P38の方法で、「無線LAN」の設定を【ON】にする。

(つづく)

木

ったと

き

リモコンの無線LAN状態表示 🔊 就 (つづき)

🕐 無線LAN状態表示が 🔝 になっている

- 日時が設定されていない。
 →日時あわせをする。(P10)
- ■無線LANルーターのLANケーブルが外れている。 →LANケーブルが外れていれば接続する。
- 契約されているインターネットに障害が発生している。
 ⇒ご使用の無線LANルーターに接続されている他の 機器が正常に無線LAN通信できていない場合は、 プロバイダーに問い合わせる。
- ■無線通信に必要なソフトウェアを自動的に更新しているときなどで一時的に通信ができない場合があります。
 →少し時間をおいて再度確認する。
- ■無線LANルーターをリセットすることで復帰する場 合があります。
- →無線LANルーターの電源を「切」→「入」して、再度 確認する。
- ■無線LANルーターの接続台数の上限に達している。 →無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線LAN状態表示が「圏外」になっている

- ■無線LANルーターがリモコンと離れすぎている。 または、壁・ドア・家具・金属などの障害物がある。
 ⇒電波受信レベル(P40)を確認しながら、無線LAN ルーターがつながる場所に無線LANルーターを移動 させるか、無線LAN中継器を使用する。
- 電子レンジなどの強い電波を発するものを使用していると、通信が切れる場合があります。
 - →異常ではありません。 電子レンジなどを使用していないときに、再度確 認する。
- ■他の無線機器が電波を妨害している。
- →無線LANルーターの取扱説明書やウェブサイトな どを参考に、無線LANルーターの無線チャンネル を、他の無線機器が使用していないチャンネルに 変更する。
- ■無線LANルーターを交換した。(新しい無線LANルー ターとリモコンとの接続設定をしていないと「圏外」 表示が出ます)
- →新しい無線LANルーターと接続する。(P21) ■ 無線LANルーターが正常に動作していない。
- →同じ無線LANルーターを使っている機器がイン ターネットに接続できているか確認する。 接続できていない場合は、無線LANルーターに異 常がないか確認する。
- ■無線通信に必要なソフトウェアを自動的に更新しているときなどで一時的に通信ができない場合があります。
 →少し時間をおいて再度確認する。
- ■無線LANルーターをリセットすることで復帰する場合があります。
- →無線LANルーターの電源を「切」→「入」して、再度 確認する。
- ■無線LANルーターの接続台数の上限に達している。 →無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

● 無線LAN状態表示がふになっているのに、通信ができない

考えられる処置をしてみたが通信ができない

- 日時が設定されていない。 →日時あわせをする。(P10)
- 外部の原因も考えられますが、念のためリモコン側のリセットをしてみてください。
- ➡通信機能をリセットする。(P39)
- リモコンのソフトウェアを自動的にダウンロードしているときに一時的に通信ができない場合があります。
 →少し時間をおいて再度確認する。

リモコンとスマートフォンとの接続時

? リモコンとスマートフォンとの接続に失敗した

- リモコンとスマートフォンが、同じ無線LANルーター に接続されていない。
- →同じ無線LANルーターに接続する。 ※同じ無線LANルーターに接続していても失敗する場合は、同じSSIDに接続する。 同じSSIDに接続しても失敗する場合は、無線LANルーターの取扱説明書やウェブサイトを参考に、無線LANルーターのネットワーク分離機能やプライバシーセパレーター機能がOFFになっているか確認する。 (お使いの無線LANルーターによって機能名称は異なる場合があります)
- ■対象ではないエネファーム用アプリを使用している。
 ⇒対象のエネファーム用アプリを使用する。(P19)
- 無線LAN状態表示が ※や「圏外」になっている。
 →P45「リモコンの無線LAN状態表示」の項目を確認する。

停電時発電継続運転

停電中

? 電気機器の電源が入らない

- ■電気機器を通常のコンセントに接続している。 →電気機器を「停電時専用コンセント」に接続する。
- ■電気機器の使用電力が発電量を超えている。
 →使用する電気機器の数をすぐに減らし(P29「停 電に備え、使用できる電気機器を確認しておいて ください」)、停電時専用コンセントが使えるよう になるまで待つ。

「自立用コンセントの出力が準備できました。使 用する電気を減らし【再開】を押してください。」と メッセージが出ているときは、メッセージに従っ て操作をする。

■ P29「以下の場合は停電時発電継続運転できません」の理由により、停電時発電継続運転が停止している。
→停電が復旧するまで発電できません。

?	 リモコンのON/OFFスイッチが「入」にならない P29「以下の場合は停電時発電継続運転できません」の理由により、停電時発電継続運転が停止している。 ⇒停電が復旧するまで発電できません。
?) 画面表示がいつのまにか消えている ■ 発電ユニットに不具合が生じた可能性があります。 →停電復旧後、故障表示が出ている場合は、発電ユニットの取扱説明書を確認し、処置をする。
?) リモコンでお知らせ音 (ピピッ) が鳴り、「発電継続の ために、お湯を使ってください。」の表示が出ている
	■ 貯湯タンクが満タンになって発電が停止するのを予 防するため、貯湯タンクが満タンに近づくと表示と

 音でお知らせすることがあります。
 ⇒おふろのお湯はりをするなどして、お知らせ音と 表示が消えるまでお湯を使う。

(停電時発電継続仕様の場合) 停電復旧後

電気機器の電源が入らない

■電気機器を「停電時専用コンセント」に接続している。
 →電気機器を通常のコンセントに接続する。
 停電が復旧すると、停電時専用コンセントへの電気の供給が停止します。

リモコンに故障表示が 出ているとき

 ●不具合が生じたとき、(発電エラ−)と5桁の英数字が交互 表示します。表示の内容と処置方法については、発電 ユニットの取扱説明書をご覧ください。

転居されるとき

●転居される際は、リモコンの「全設定初期化」をおこない、お客さまの無線LANルーターやスマートフォンの情報をリモコンから削除してください。(P42「ユーザー設定を初期値に戻す」)

リモコンにアップデートに関 するお知らせを表示したとき

● リモコンに最新のソフトウェアがある場合、下記の画 面が表示されます。

アップデートによってソフトウェアが改善され、より 快適にご使用いただけます。必ずアップデートをおこ なってください。



ご参考

手順

1. 【確認】をタッチする



●【後で通知】をタッチした場合は、3時間後に再度 この画面が表示されます。

(つづく)

2. 【アップデートに関するお知らせ】をタッチする

(表示例)

トップ お知らせ	戻る
アップデートに関するお知らせ	
	1/1

3. 【リモコンのアップデート】をタッチする

トップ アップデートに関するお知らせ	戻る
リモコンのアップデート	
	1/1

4. 内容を確認し、【開始】を約5秒長押しする



- アップデートを開始します。
- アップデート中は、数分間、画面が消灯してリ モコンを操作できません。アップデートが完了 すると、操作できるようになります。
- アップデート後は、エネルックの当日分のデー タが削除されることや正しい値を表示しないこ とがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

- ●リモコンに関するサービスおよび保証は発電ユニット に準じます。発電ユニットの取扱説明書・保証書は、 内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ●この取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」と発 電ユニットの取扱説明書を調べていただき、なお異常 のあるときは、下記へご連絡ください。

東邦ガス株式会社 エネファーム・エコウィル サポートセンター フリーダイヤル **0120-677-977**

移設される場合

●移設作業はお客さま自身でおこなわず、東邦ガスにご 相談ください。

お知らせ

●リモコン設置後、初めて無線LANルーターに接続したときに、アップデートに関するお知らせが表示されることがあります。